

No	16												
指標名	クリニカルパス使用率【日数】												
定義	$\frac{\text{(分子) パス適用日数合計}}{\text{(分母) 入院延べ日数}}$ ※パス適用日数合計・・・調査期間中に開始されたパスの適用日数合計												
結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>当院 (%)</th> <th>全国中央値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2017年度</td> <td>20.7%</td> <td>20.8%</td> </tr> <tr> <td>2018年度</td> <td>20.9%</td> <td>21.0%</td> </tr> <tr> <td>2019年度</td> <td>21.4%</td> <td>21.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(当院)2017年度、2018年度、2019年度における当院のデータ (全国)2017年度、2018年度、2019年度に実施した病院の中央値 (2020/04/25時点) ※他院との詳細な比較につきましては「全国自治体病院協議会 医療の質の評価・公表等推進事業」のページをご参照ください。</p>	年度	当院 (%)	全国中央値 (%)	2017年度	20.7%	20.8%	2018年度	20.9%	21.0%	2019年度	21.4%	21.5%
年度	当院 (%)	全国中央値 (%)											
2017年度	20.7%	20.8%											
2018年度	20.9%	21.0%											
2019年度	21.4%	21.5%											
コメント (解説)	<p>クリニカルパス使用率(日数)は、入院患者さんの入院延べ日数に対し、パスが適用された日数の割合を表しています。</p> <p>院内クリニカルパス委員会では、安全かつ質の高い医療が提供できるように、クリニカルパスの作成・利用推進活動を行い、医療の標準化と効率化に取り組んでいます。</p> <p>当院は、救急搬送された患者さんや、重篤な患者さんの入院も多く、標準的な診療だけでは対応が難しく、長期的な入院が必要な場合もあることから、患者数当たりの使用率は全国中央値より高くはなっていますが、日数当たりの使用率は全国中央値と同等程度となっています。</p>												